766831-7-480

空気より軽い12A、13Aガス用

TOHO GAS

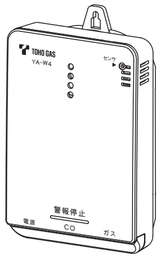
家庭用

ガス・CO 警報器

YA-W4

取扱説明書 保証書付

●ガス・CO警報器をお取り付けいただきありがとうございました。
●この取扱説明書はガス・CO警報器の取扱方法を説明します。
●お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をご理解した上で取り扱ってください。
●本取扱説明書には、保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。
●本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、取扱店または最寄りの東邦ガス営業所にお問い合わせください。
●本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が働きません。



一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

警報器の機能について

■ ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。

《お断わり》
●ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
●ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●取付場所近くでのガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発しないことがあります。

保証書

商品名 ガス・CO 警報器　　品名 YA-W4

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この保証書は、東邦ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料点検・無料取替えをお約束するものです。万一故障いたしましたときは、本書をご提示の上、お買い上げの取扱店、または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

1. 保証期間
(1)保証期間は、お取付け後5年間とし、警報器本体を対象とします。
なお、警報器本体の有効期限はお取付け後5年間です(保証期間終了年月(有効期限)は、機器本体ラベルに「西暦と月」で記入しております)。

2. 点検の実施
(1)取扱説明書に基づいた使用状態で、誤作動等の異常が発生した場合には、点検いたしますのでご連絡ください。
(2)点検の結果、故障が認められた場合は、点検を無料として無料取替えいたします。

3. 保証書の適用除外
保証期間内であっても、次の場合には、有料点検・有料取替えとなります。
(1)点検の結果、本製品に異常が認められない場合。
(2)取扱説明書に基づかないで使用して生じた故障または損傷。
(3)火災、津波、塩害、地震、風水害、落雷、噴煙、降灰、酸性雨、資金性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流・電圧・周波数・電磁波、犬・猫・ねずみ・鳥・くも昆虫等の動物による故障または損傷、その他天地地異または戦争、暴動等破壊行為による故障または損傷。
(4)水や煮こぼれ等の液体による故障または損傷。
(5)車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障または損傷。
(6)建築躯体の変形等機器本体以外に起因する出荷機器の不具合、筐体の色あせ等の経年変化、ご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
(7)当社の供給するガス以外や指定規格外の電気等を使用した場合の故障または損傷。
(8)本製品のお買い上げ取扱店または当社が指定した取付業者以外で取付けられた場合の故障または損傷。
(9)お買い上げ後に、お客さまによる取付位置の移動、落下、衝撃等に起因した故障または損傷。
(10)お買い上げ後に、分解、改造等が行われた場合の故障または損傷(ただし、当社都合の場合は除く)。
(11)本書にお取付け年月、取扱店名・住所の記入捺印がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
(12)本書のご提示がない場合。

4. お客さまへ(ご注意)
(1)本書をお受け取りになる時に、お取付け年月、取扱店名・住所が記入捺印してあることを確認してください。
(2)本書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
(3)保証期間(有効期限)経過後は、新しい商品とお取替えください。
(4)本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
(5)無料点検・無料取替えやアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの取扱店、または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

お取付け年月　　年　　月

取扱店名（店名）　　(TEL.)

（住所）

保証履行者 東邦ガス株式会社 〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19番18号

保証責任者 矢崎エナジーシステム株式会社 〒108-8333 東京都港区三田1丁目4番28号 三田国際ビル 17F

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険　誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
⚠警告　誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠注意　誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性及び物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

「必ず行う」事項を示しています。	「水ぬれ禁止」事項を示しています。
「火気厳禁」事項を示しています。	「分解禁止」事項を示しています。
「ぬれ手禁止」事項を示しています。	「一般的な禁止」事項を示しています。

⚠危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

必ず行う　**ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。**

火気厳禁　**マッチやライターなど、火気を使わないでください。**

禁止　**換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。**

禁止　**電源プラグを抜かないでください。**

禁止　**部屋の外から、すぐに入室しないでください。**

CO警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。

必ず行う　**CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。**

禁止　**部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。**

⚠警告

必ず行う　**常に電源が入っていること(緑(電源)ランプ点灯)を確認してください。**
電源が入っていないとガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

必ず行う　**設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。**
正常に作動しない恐れがあります。
有効期限は、警報器本体に貼り付けされている有効期限シールに示しています。

必ず行う　**噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P7～8参照)**
●警報器をポリ袋などで覆う。
●噴霧が終わったら、換気した後ポリ袋を取り除く。
誤作動の原因となります。

ぬれ手禁止　**ぬれた手でプラグ及び予備コンセント部分にさわらないでください。**
感電する恐れがあります。

水ぬれ禁止　**水につけたり、水をかけたりしないでください。**
ショートや感電の恐れがあります。

分解禁止　**分解や改造はしないでください。**
故障の原因となります。

禁止　**衝撃を与えないでください。**
故障の原因となります。

禁止　**警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。**
ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

禁止　**ガス検知部は絶対にふさがないでください。**
ガスもれまたはCOを検知しなくなります。

禁止　**煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。**
点検ガスにフロンが含まれている場合、ガスセンサの故障の原因となります。

禁止　**電源コードにはステップルや釘などを打たないでください。**
火災の原因となります。

禁止　**電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。**
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因となります。

⚠注意

必ず行う　**警報器をお手入れするときは、必ず警報器の電源プラグを抜いてください。**
感電やけがの原因となります。

必ず行う　**警報器の取り外し・取り付け・点検を行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。**
転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

禁止　**取付位置を移動させないでください。**
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、取扱店にご相談ください。

禁止　**警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。**
警報の遅れの原因となります。

禁止　**警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。**
ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。

予備コンセントを使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。
火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。

必ず守る　**警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグは抜かずに、警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)をご利用ください。ただし、接続できる電気製品は1490W以下です。**
1490Wを越えると火災発生の恐れがあります。

確かめる　**警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)を使用するときは、接続する電気製品の電源スイッチを必ず「切(OFF)」にしてから接続してください。**
感電の恐れがあります。

禁止　**警報器のプラグ、他のコンセントのプラグは確実に接続してください。**
プラグがコンセントに確実に接続されていないと、プラグ部分が加熱し、破損する場合があります。

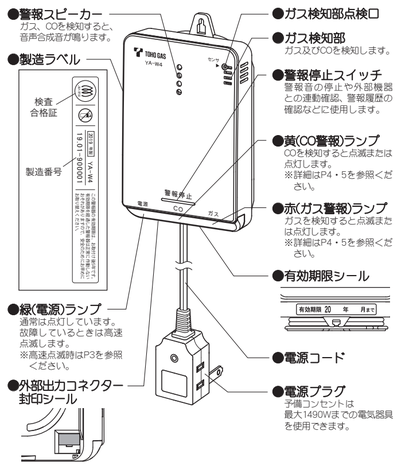
禁止　**警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)に接続するときは、警報器のプラグに大きな力がかからないようにしてください。**
プラグ部分が外力により破損する場合があります(例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください)。

対象ガス

⚠注意

●この警報器は都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)及び燃焼排ガス中のCOを検知します。
●都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)供給区域外ではお使いにならないでください。

各部のなまえとはたらき



ーランプのつきかたについてー
取扱説明書中のランプの点灯、点滅は次のように動作します。

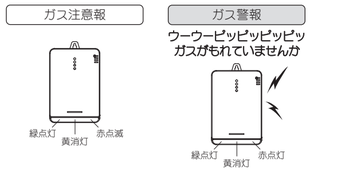
点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し（0.5 秒周期）	点滅周期
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し（0.3 秒周期）	点滅周期
遅い点滅	点灯と消灯の繰り返し（3 秒周期）	点滅周期

警報器のお知らせ機能について

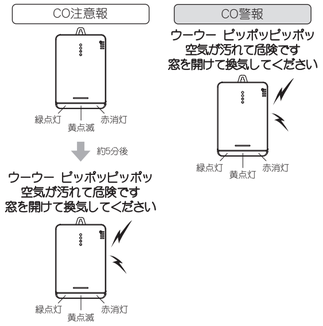
ガス・CO警報機能

ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは
警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が約5分間継続した場合も警報が作動します。)



ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは
警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。

有効期限が過ぎたときは

有効期限が半年以上過ぎた場合、緑(電源)ランプが遅い点滅となり、有効期限が過ぎていることをお知らせします。
この状態で警報停止スイッチを押すと、「ピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。
また、電源を再投入すると、「正常です」が鳴らずに「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。
※取扱店までご連絡ください。

故障しているときは

故障が発生すると、「故障です 販売店に連絡してください」が1回鳴り、緑(電源)ランプが高速点滅します。
その後は「ピッピッピッ 故障です」と約1分毎に繰り返し鳴り、約10分毎に「故障です 販売店に連絡してください」が鳴ります。
それ以降も同じ動作を繰り返します。
ただし、警報停止スイッチを押すと故障音は約36時間停止します。
緑(電源)ランプの高速点滅は止まりません。
※取扱店または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。
※外部機器と連動している場合、故障音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

「故障です 販売店に連絡してください」
その後、約1分毎に
「ピッピッピッ 故障です」
約10分毎に
「故障です 販売店に連絡してください」

使用方法

1 警報器の電源プラグをコンセントに差し込む。(電源投入)
緑(電源)ランプが点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。

2 電源を供給してから約30秒後、ランプが全点灯した後、消灯します。
〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉
過去に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。(P9参照)

3 「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯し、監視状態に入ります。
〈有効期限が過ぎている場合〉
「正常です」とは鳴らずに前頁に記載している有効期限切れ時の動作となります。
※取扱店までご連絡ください。
〈警報器が故障している場合〉
「正常です」とは鳴らずに前頁に記載している故障発生時の動作となります。
※取扱店または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

警報器が作動したら

1 赤(ガス警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた

赤(ガス警報)ランプが点滅している場合、ガス注意報を意味しています。

1 ドアや窓を開けて換気する。
しばらく換気を続けると、ランプは消灯します。

2 原因を確認する。
ガス濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P6参照)

《お断わり》
外部機器と連動している場合、ガス注意報では外部機器は連動動作しません。

2 『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた

「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と警報し赤(ガス警報)ランプが点灯している場合、ガス警報を意味しています。

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

火気厳禁　**マッチやライターなど、火気を使わない。**

禁止　**換気扇、電灯、蛍光灯など電気製品のスイッチを入・切しない。**

禁止　**警報器を取り外さない。**

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス栓や器具栓を閉める。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【赤(ガス警報)ランプ消灯】

4 ガスもれの原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

3 黄(CO警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた

黄(CO警報)ランプが点滅している場合、CO注意報を意味しています。

1 ドアや窓を開けて換気する。
しばらく換気を続けると、ランプは消灯します。

2 原因を確認する。
CO濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P6参照)

《お断わり》
●外部機器と連動している場合、CO注意報(黄ランプの点滅のみでありCO警報音が鳴っていない状態)では外部機器は連動動作しません。
※黄(CO警報)ランプの点滅が約5分間継続すると、「ウーウー ピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴りはじめます。

4 『ウーウー ピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた

「ウーウー ピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報し、黄(CO警報)ランプが点滅または点灯している場合、CO警報を意味しています。

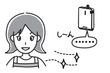
⚠危険

警報音が鳴ったら、**すぐに換気をし、使用中のガス機器を止める。**
CO濃度が上昇し短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【黄(CO警報)ランプ消灯】



5 「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」が交互に鳴ったときの処置のしかた

ガス警報とCO警報を交互に発し、赤(ガス警報)ランプが点灯、黄(CO警報)ランプが点灯もしくは点滅している場合、ガス警報とCO警報の複合警報を意味しています。

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発やCO中毒の恐れがあります。

火気厳禁　**マッチやライターなど、火気を使わない。**

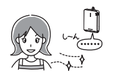
禁止　**換気扇、電灯、蛍光灯など電気製品のスイッチを入・切しない。**

禁止　**警報器を取り外さない。**

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】



4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

6 部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠危険

禁止　警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しない。**
爆発やCO中毒の恐れがあります。

1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓を開けるときは東邦ガス営業所にご連絡ください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。

6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

7 処置をしても警報音が鳴り止まないときは

■ガス警報・CO警報の場合
「ガスくさい場合（緊急）」の連絡先に連絡する。

ガスくさい場合（緊急）
◆24 時間承ります
愛知県：052-872-9238
岐阜県：058-272-0088
三重県：059-224-0225

■その他の場合
東邦ガス修理受付ダイヤルへ連絡する。

おねがい
●たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。（有償）
●ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が30秒～60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が30秒～ 60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。
ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

8 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れにより赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと、

- ガス警報音は1回だけ5分間止めることができます。
- CO警報は黄(CO警報)ランプが点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ警報音を1回だけ5分間止めることができます。

※警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再びガス警報音、CO警報音を発します。

※外部機器と連動していて、かつ警報器周辺のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が鳴りやむ。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- ●長い間閉め切られたお部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分(シリコーンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス[エアコンの冷媒ガスなど])の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- ●建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

- ●スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- ●タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- ●芳香剤・香油(アロマオイル)などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- ●線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- ●溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- ●アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- ●フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- ●長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- ●焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- ●みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- ●可燃性のガスなどを使用していませんか。
- ●警報器の通常の電圧範囲は AC100V±10V です。それ以外で使用していませんか。
- ●換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ●ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- ●自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- ●炭火や練炭を使用していませんか。
- ●換気扇を回さずに大鍋(業務用)で湯を沸かしていませんか。点火初期時に CO が発生し、CO 警報を発することがあります。

おねがい

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプが点滅・点灯したり、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器は取り外さないでください。

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

表中の ● はランプの点灯、◎ はランプの点滅を表しています。

ランプ 緑(電源)	ランプ 黄(CO)	ランプ 赤(ガス)	音声内容	事象	対応方法
●			なし	通常動作(監視中)	―
●		◎	なし	ガス注意報	P4参照
●		●	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	ガス警報	P4・5参照
●	◎		なし	CO注意報	P4参照
●	◎ ●		ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	CO警報	P4・5参照
●	◎	◎	なし	ガス注意報とCO注意報	P4参照
●	◎	●	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	ガス警報とCO注意報	P4・5参照
●	◎ ●	◎	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	CO警報とガス注意報	P4・5参照
●	◎ ●	●	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか/ ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください(交互)	ガス警報とCO警報	P5参照
◎ 電源点滅			故障です 販売店に連絡してください (10分毎) ピッピッピッ 故障です(1分毎)	故障警報(警報器が故障診断機能により故障と判断した状態)	取扱店または東部ガス修理受付ダイヤルへ連絡してください
◎ 長い点滅			ピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください (警報停止スイッチ操作時)	有効期限切れ(警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態)	取扱店に連絡してください

※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。
この場合、取扱店または東部ガス修理受付ダイヤルへ連絡してください。

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く。

《お断わり》

外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続しているときは、警報器を取り外すと、外部機器で警報音(故障表示)が鳴ることがあります。

2 警報器を取り外す。 (P.7参照)

3 警報器及び取付部付近の壁面の汚れをふき取る。

- ●警報器表面・壁面
  布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。
- ●電源プラグ
  乾いた布でふき取ってください。

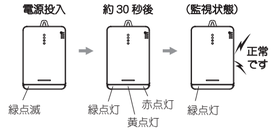
おねがい

- ●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- ●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
  アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤(ガス警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

4 警報器を取り付ける。 (P.7参照)

5 電源プラグをコンセントに差し込む。

警報器の電源が入ります。
緑(電源)ランプが点滅し、約30秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
異常があれば「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。



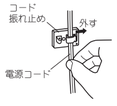
〈過去10日以内に警報器が作動した場合〉

電源を入れてから約30秒後ランプが全点灯した後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです。)

警報器の取り外し・取り付けかた

〈取り外しかた〉

1 電源コードをコード振れ止めから取り外す。

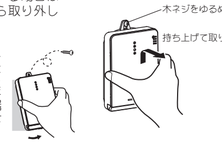


2 警報器を取り外す。

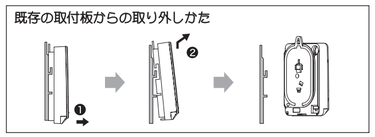
木ネジで固定されている場合は木ネジをゆるめてから取り外してください。

〈注意〉

壁掛型警報器は、強く引っ張ると取り付けている木ネジが抜けたり、木ネジから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。



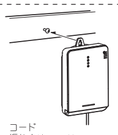
既存の取付板からの取り外しかた



〈取り付けかた〉

1 警報器を取り付ける。

木ネジで固定する場合は取り付け後、木ネジを締め付けて固定してください。

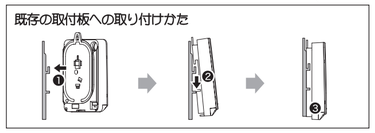


2 電源コードをコード振れ止めに取り付ける。

〈確認〉

警報器が確実に固定されていることを確認してください。

既存の取付板への取り付けかた



噴霧式殺虫剤を使用するときは

噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

⚠ 警告

- **●噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。**
  警報器が作動しません。
- **●電源プラグを抜かないでください。**
  警報器の信号が外部機器と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜いたりすると、外部機器で警報音(故障表示)が鳴ることがあります。

⚠ 注意

警報器へのポリ袋の取り付け・取り外しは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

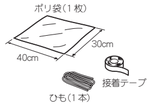
1 警報器をポリ袋で覆う

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応してガス警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

1. コードを巻き取り部から引き出して伸ばし、安定した所に置ける場合には、以下の手順で処置してください。

【準備するもの】

- **●ポリ袋**(30cm×40cm・1枚)
  ポリプロピレン製(♻ または>PP<表示)が好ましいですが、ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- **●ひも**(1本)
- **●接着テープ**

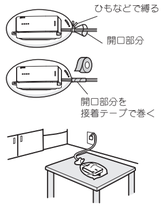


【処置のしかた】

①警報器を取り外し、コード止めから電源コードを外して伸ばしながら、安定するところに置いてください(電源プラグは抜かないでください)。

②警報器にポリ袋1枚をかぶせて、ポリ袋内に噴射ガスが入るのを防ぐため、電源コード部分で密閉できるようにひもなどで縛ってください。ポリ袋の開口部分は、電源コードとの間に隙間ができないように接着テープなどを巻いてください。

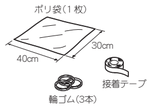
③ポリ袋を傷めないように、安定するところに置いてください。



2. 1の方法で処置できない場合は、以下の手順で処置してください。

【準備するもの】

- **●ポリ袋**(30cm×40cm・1枚)
  ポリプロピレン製(♻ または>PP<表示)が好ましいですが、ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- **●輪ゴム**(3本)
- **●接着テープ**
  養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、また、剥がすときに壁面を傷めないテープを選んでください。



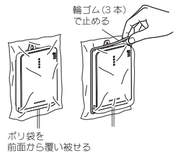
【処置のしかた】

①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、輪ゴムで警報器のコード巻き取り部分を止めてください。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかりと止めてください。

②ポリ袋と壁の隙間から噴射ガスが入るのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで壁面に貼り付けてください。ただし、壁面などの状況により貼り付けできない場合は輪ゴムで止めておくだけでも一定の効果はあります。

※ポリ袋がしわになっている部分や、電源コードが通っている部分に特に注意し、ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにしてください。

※接着テープは壁面の状況に応じて、接着しやすく、また剥がすときに壁面などを傷めないようにしてください。



2 噴霧式殺虫剤を噴霧する

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- **●部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。**
  必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- **●噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。**
  警報器の真下は避けてください。
- **●ポリ袋と壁面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。**
- **●警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。**
  ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- **●経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。**

3 ポリ袋を取り外す

噴霧が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取り外してください。

おねがい

接着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。

点検方法について

日常の点検

日常、警報器の緑(電源)ランプが点灯していることを確認してください。

※緑(電源)ランプが消灯、高速点滅もしくは遅い点滅をしている場合は、取扱店または東部ガス修理受付ダイヤルへ連絡してください。
(P10「故障かな?と思ったら」を参照ください。)

定期点検

⚠ 警告

- **●点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。**
  警報器の破損や火災の原因になります。
- **●点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。**
  転倒してけがをする恐れがあります。

毎月1回を目安に、警報器が正常に動作していることを確認してください。

〈定期点検のしかた〉

①警報停止スイッチを約1秒間押し「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離してください。

②ランプが点灯した後に「正常です」と鳴ることを確認してください。

※万一、異常があれば「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。

※警報停止スイッチの操作については、電源を入れてから4分間は動作が異なります。詳しくは、取付説明書『6-3 警報ランプと警報音の確認』を参照ください。

外部機器との連動確認機能について

⚠ 警告

- **●点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。**
  警報器の破損や火災の原因になります。
- **●点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。**
  転倒してけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

- **●外部機器(マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等)が作動しますので、連動確認機能を操作される場合はご注意ください。**
- **●マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。**

〈連動確認のしかた〉

①警報停止スイッチを3秒間押し続けてください。
「ピッピッ」と開始音が鳴ります。
(緑(電源)ランプが点滅を開始)

②警報停止スイッチを離すと以下のように作動することを確認してください。(外部出力信号が1分間出力されます。有電圧は12Vと18Vが交互に出力されます。)

動作順	音声内容	ランプ 緑(電源)	ランプ 黄(CO)	ランプ 赤(ガス)	有電圧出力(12V⇔18V)
1	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	点滅		点灯	ON
2	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	点滅	点灯		ON
3	無音	点滅	点灯	点灯	ON

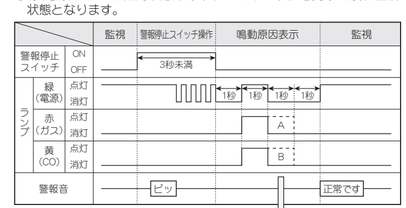
③約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態(緑(電源)ランプ点灯)に戻ります。

※1分以内に点検を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、即時に終了します。

警報履歴の確認(鳴動原因表示機能)

警報器が鳴動した履歴がある場合、下記の方法で過去10日以内に発生した警報の種類を確認することができます。

①監視時(電源投入から4分以降)に警報停止スイッチを押し「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離してください。
②全てのランプが約1秒間消灯した後、約1秒間点灯します。
③鳴動の履歴がある場合は、過去10日以内に警報したランプがさらに約1秒間点灯します。
(タイミングチャートのA、Bを参照ください)
※鳴動の履歴が無い場合は、ランプ1秒点灯は動作しません。
④緑(電源)ランプが点灯状態となり、「正常です」を発した後、監視状態となります。



警報履歴表示により最後に発生した警報のランプが1秒点灯します。

	警報履歴	赤(ガス警報)ランプ	黄(CO 警報)ランプ
A	ガス警報	1 秒点灯(計 2 秒)	消灯
B	CO 警報・CO 注意報	消灯	1 秒点灯(計 2 秒)
―	警報履歴なし	―	―

- ●上記のランプ表示動作は、最新 1 回のみの警報履歴をお知らせしているものです。
- ●警報器の電源プラグをコンセントに差し込んだときも緑(電源)ランプが点滅し、約30秒後に同様の動作をします。
- ●警報履歴は警報解除から約10日間経過した場合、消去されます。

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
緑(電源)ランプが消灯している。	電源コードの電源プラグがコンセントから外れていませんか。	電源プラグをコンセントへ差し込んでください。
警報器が正常にもかかわらず、外部機器が鳴る。	電源ブレーカーが切れていませんか。	ブレーカーを入れてください。
	停電していませんか。	停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、取扱店または東部ガス修理受付ダイヤルへ連絡してください。
警報器が温かくなっている。	―	通電により、センサ部を加熱しています。異常ではありません。
緑(電源)ランプが高速点滅している。	「ピッピッピッ 故障です」の故障音が鳴っていますか。	故障ですので取扱店または東部ガス修理受付ダイヤルへ連絡してください。警報停止スイッチを押すと故障音を約36時間停止できます。
ガスもれ、COの発生ではないのに、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P6参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅や警報音が止まります。鳴りやまない場合は「ガスくださいの場合(緊急)」の連絡先へ連絡してください。
	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。(有償)
	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。
電源を入れたときに、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが長く点灯する。	10日以内に警報を発していませんか。	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P9参照)
緑(電源)ランプが遅い点滅をしている。(電源を入れたときや、警報停止スイッチを押したときに「ピッ有効期限切れています 販売店に連絡してください」と鳴る)	警報器の有効期限シールに記載されている有効期限が過ぎていませんか。	有効期限が過ぎていれば、取扱店に連絡してください。(P3参照)

アフターサービスについて

■この警報器は、5年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。
ただし保証書記載の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。

■この警報器の有効期限は、ご使用開始後5年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。

■保証書に取付け年月及び取扱店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。

■保証書は大切に保管してください。

■アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、取扱店または東部ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

	東部ガス 修理受付ダイヤル	電話受付時間
ガス機器修理等のお申し込みは	0570-070456 ※ PHSをご利用の方は、お近くの東部ガスへおかけください。	24時間365日、修理等の訪問予約を承ります

■警報器の有効期限が過ぎたときは、取扱店または最寄りの東部ガス営業所までご連絡ください。

■作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。

■引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、取扱店または最寄りの東部ガス営業所までご連絡ください。

廃棄について

〈リース契約の警報器の廃棄〉

有効期限が過ぎた警報器は、取扱店にて回収いたします。

〈お買い上げいただいた警報器の廃棄〉

お客さまにて、お住まいの市町村の廃棄物処理方法にしたがって廃棄してください。

仕様

項目			仕様
型番(商品名)			YA-W4型(ガス・CO警報器、家庭用)
ガス警報機能・CO警報機能	対象ガス		都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用) 燃焼排ガス中のCO
	検知方式		半導体式
	都市ガス ガス警報	作動条件	*爆発下限界濃度の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報
		表示・発報方式	赤(ガス警報)ランプ点灯 音声合成警報音
	都市ガス ガス注意報	作動条件	ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
		表示・発報方式	赤(ガス警報)ランプ点滅 発報音無し
	燃焼排ガス中のCO CO警報	作動条件	550ppmのCOに対し5分以内に警報
		表示・発報方式	黄(CO警報)ランプ点灯 音声合成警報音
	燃焼排ガス中のCO CO注意報	作動条件	300ppmのCOに対し10分以内に注意報
		表示・発報方式	黄(CO警報)ランプ点滅 黄(CO警報)ランプ点滅が約5分継続すると音声合成警報音
	外部出力信号		有電圧出力 3段階有電圧2線式 (監視時 DC6V、電源OFF時・故障診断時 0V、ガス警報時 DC12V、CO警報時 DC18V)
	一般財団法人 日本ガス機器検査協会(JIA)都市ガス用ガス警報器検査規程 認証合格品		
共通仕様	警報音量		70dB/m以上
	電源		AC100V±10V 50/60Hz
	消費電力		監視時 約0.7W、警報時 約1W
	付属機能		通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能、鳴動原因表示機能
	使用温度範囲		0℃～＋50℃(結露しないこと)
	寸法・質量		125×85×32.5mm 約250 g
	電源コード		長さ2.5m(約22mはケース背面に巻き取り可能) 予備コンセント付プラグ(予備コンセントに接続できる電気製品は1490W以下)
	付属品		取扱説明書(保証書付)(本書)×1、取扱説明書×1、お問い合わせ先一覧×1、リースシール×1、コード振れ止め×3、31ミリ木ネジL16×1、アタッチメント(ピン3本付)×1、ねこうボード用ビンL18×6

＊ 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

※マイコンメーターと接続する場合は、別売の警報器アダプターが必要になります。

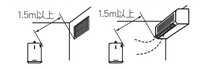
取付位置の確認

⚠ 注意

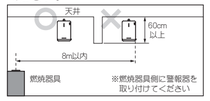
正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

〈正しい取付場所について〉

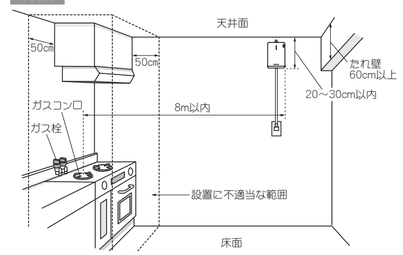
- ●ガス、CO を検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ●ガスや CO が滞留しやすい位置で、緑(電源)ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ●ガス、CO を検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓)から、水平距離で 8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が 20～30cm 以内に取り付けてください。
- ●換気口やエアコンなど、空気の吹出し口から1.5m以上離してください。



- ●天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



取付例

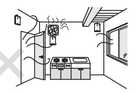


※警報器の取り付けや取付位置の移動は、取扱店にあまかせください。

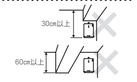
〈取り付けてはいけない場所について〉

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

- **●レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。**
  アルコール等で警報することがあります。
- **●換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。**
- **●除間風の入る場所。**
  警報が遅れたり、検知できないことがあります。

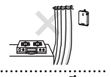


- **●30cm以上(警報器含)のたれ壁などの下。**
- **●60cm以上のたれ壁で区切られている場所。**
  警報が遅れたり、検知できないことがあります。

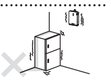


- **●ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。**
- **●使用時でないと電源を入れない場所。**
  警報器としての機能を果たしません。

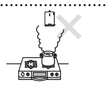
- **●カーテンウォールなどで仕切られた場所。**
  警報が遅れます。



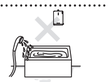
- **●振動、衝撃の激しい場所。**
  センサの故障の原因になります。



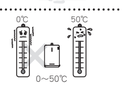
- **●燃焼器具などの排気、湯気、油煙及び調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。**
  センサ寿命が短くなったり、誤動の原因になります。



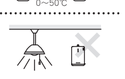
- **●浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。**
  感電や電気的故障の原因になります。



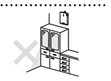
- **●温度が0～+50℃の範囲をこえる場所。**
  警報器としての機能を果たしません。
  また、誤作動の原因になります。



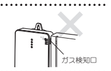
- **●照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。**
  センサ寿命が短くなったり、誤動の原因になります。



- **●食器棚などの上部。**
  警報が遅れます。



- **●ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。**
  警報が遅れることがあります。



- **●屋外。**
  屋外用ではありません。
- **●業務用・工業用。**
  家庭用です。業務用・工業用ではありません。